

ミニかどまつの作り方

毎年暮れにこどもの国で開催しているイベント「ミニかどまつ作り」用の作り方の手順の説明書です。



1. かどまつ作りに必要なもの・道具

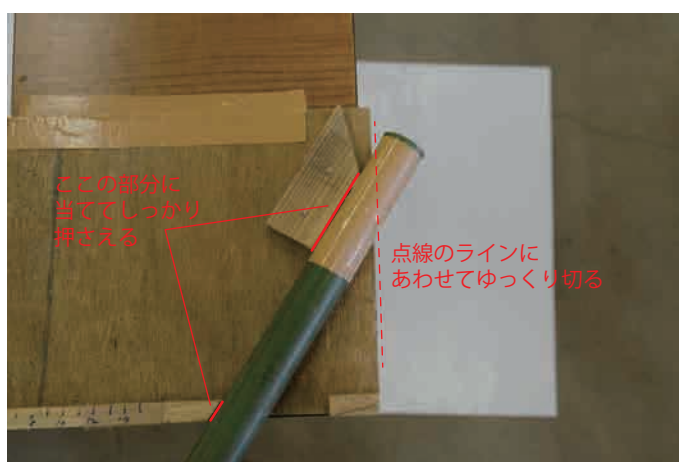
かどまつ製作台はこどもの国で作ったもので、なくても作れますが、竹を切るときに手で押さえやすいようにすると作るのが楽です。



2. 竹を3本ずつに分けて、左右どちらの場所に使うか仮りに決めておきます（あとでかえても構いません）。また斜めに切る方をどちらにするか決めます。下になるほうにサインペンで目印をつけておいてもよいでしょう。



3. 斜めに切る場所に布テープを巻きます。ノコギリで切った時なるべく竹がささくれないようにするためなので、ノコギリの歯が当たる部分には確実に布テープが巻かれているようにしてください。



4. 製作台の上に斜めに置き、布テープを巻いた部分を切り落として行きます。ノコギリには力を入れず、ゆっくり水平に切るようにするときれいに切ることができます。力を入れて切ろうとすると、きれいに切ることができません。

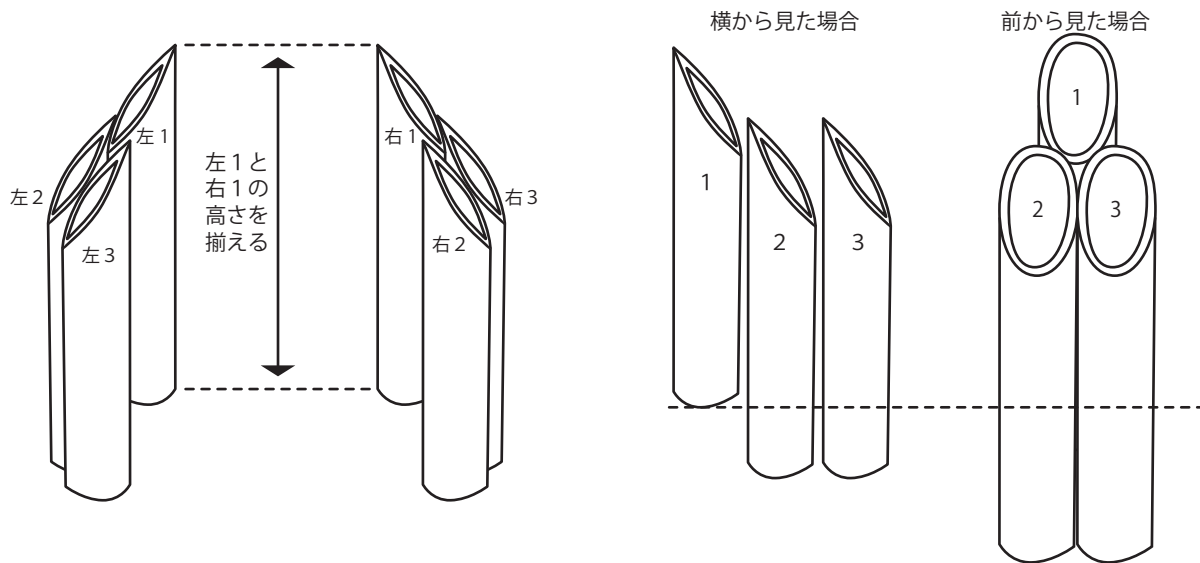


5. 最後はささくれになりやすいので慎重に切ります。



6. 布テープをやさしく剥がし、切り口に紙やすりをかけて整えます。6本全て斜めに切ります。

7. 次に高さを揃えていきます。左右のかどまつの真ん中になる部分（左1・右1）の高さを比べ切りそろえます。次に左右それぞれ、1の竹を基準にして、2、3の竹の高さを好みの高さに切りそろえます。



※布テープを巻いてサインペンで切る位置の印をつけてから切ります。

切り終わったところ



8. 左右 3 本ずつ竹をまとめて布テープで巻きます。布テープを高い位置に巻いてしまうと、荒縄で巻いても隠せなくなってしまうので、下の方だけしっかりと巻きます。



9. 荒縄の巻き方 (左)。先端を竹の下の部分から5センチ程下に垂らし、上部で輪を作るとして下に垂らします。



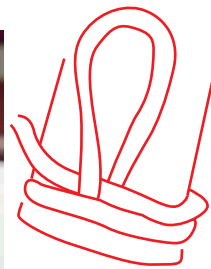
10. 長い方を底にあわせて左に巻き、隙間が開かないように上に7~8回ほど巻いていきます。荒縄を巻く高さは個人の好みでOKです。



11. 7回巻いた状態。



12. 輪に荒縄の先を手前から左後ろに通し、最後まで縄を引きます。



13. もう一度荒縄の先を手前から左後ろに通し、今度は手前の部分で輪を作ります。



14. 最初に 5 センチ程出しておいた荒縄の先を引き、縄をくぐらせた方の輪を縮めます。一度に引っ張ってしまうと手前の飾りの輪の大きさを調節できなくなるので、少し余裕を残して引っ張り、輪の形を調整して再び引っ張ります。引っ張りすぎると形が崩れるので、縄が動かない程度でよいです。



15. 引っ張った荒縄は底にあわせて切ります。輪の先の部分は福を呼び込むといわれますので、少し長めにしてお好みで切ります。



16. 右のかどまつに荒縄を巻く場合は、左に巻いた手順を左右逆さまに、荒縄を右側に巻いていきます。7、8 回巻いたら、手前から右後ろに縄を 2 回通して輪を作ります。



17. 左右のかどまつに荒縄を巻いたところ。



18. 松などの飾りを飾り付けて完成です。